

# 常総市 文書復旧ニュース 第1号

本誌は平成27年9月関東・東北豪雨により被災常総市公文書復旧活動の進捗状況等をご支援いただいた方々にお伝えるために作成しています。

常総市公文書復旧活動にこれまでに延べ580名を超えるボランティアの方に参加いただくと同時に、多くの機関・個人の方々から資機材を御送付いただきました。また、茨城県（教育委員会文化課、歴史館）、独立行政法人国立文化財機構、大学共同利用法人人間文化研究機構国文学研究資料館、茨城文化財・歴史資料救済・保全ネットワーク、全国歴史資料保存利用機関連絡協議会、国立公文書館等から御指導・御助言・御支援をいただきました。この場を借りて御礼申し上げます。

常総市では平成28年1月から文書復旧活動に関し、行政文書保全指導員の委嘱、臨時職員の雇用を行い、シルバー人材センターからの派遣と合わせ、常総市役所第一分庁舎で、平日の午前9時から午後4時まで作業を行っています。

昨年末までは、エタノール洗浄と送風乾燥によるカビ繁殖の抑制を中心に、作業を進めてきました。その効果によってカビ繁殖の抑制が確認できたため、年明けからは、文書の解体し、乾燥の促進を図っています。

解体作業は、文書全体の状況を写真撮影し、綴じを外し、1ページごとに開き、乾燥やカビ、紙質の劣化などを確認していきます。

乾燥が不十分なものはさらに送風乾燥を、カビの活性化がみられるものはエタノール洗浄を実施しています。

解体作業と送風乾燥は、3月末を目途に進めています。

これまでの作業で、文書の劣化進行は抑制され、制御できるようになったと思われます。



作業風景



洗浄後の乾燥状況



解体作業を終了した文書

ボランティアの受入は随時行っています。

また、作業見学や視察も歓迎いたします。

作業は平日と毎月第1土曜日、午前9時～午後4時です。

問い合わせ先 [hosei@city.joso.lg.jp](mailto:hosei@city.joso.lg.jp)

2月27日(土)に開催される全国歴史資料保存利用機関協議会 近畿部会の第131回例会で事例報告をします。  
詳細は近畿部会ブログ [jsai-kinki.com/](http://jsai-kinki.com/) をご覧ください。

編集・発行

茨城県常総市水海道諏訪町3222番地3

常総市役所 総務部 総務課